20104 現代文 B_2_評論「目に見える制度と見えない制度」

（学年） 第３学年,（教科・科目） 国語・現代文 B　　協働学習

（単元） 評論（三）『目に見える制度と見えない制度（中村雄二郎）』

（本時のねらい）

①本文全体を振り返ることや動画視聴を通して主題を再確認させ，日常生活における制度の問題に対する生徒各人の考えを深めさせる。

②社会的な課題に対して目を向ける主体的な姿勢を育成する。

（ICT 活用方法）

①導入

身近な法律や制度への興味・関心の喚起を図るために，デジタル教材で配信されている「アクティブ 10 公民」の「法律はなぜ必要？」という動画を電子黒板に投影し，全員で視聴する。

②展開

これまでの授業内容や視聴した動画の内容等を参考にしながら，現在の社会状況を鑑みたうえで「あったらいいな」と思う制度を考え，ワークシートに記入する。そして，その内容を授業支援クラウドアプリに配信したワークシートに入力させる。生徒の入力状況をモニタリングし，全員が完了したところで電子黒板に投影し，意見の共有を図る。

（本時の展開）

時間	学習活動	指導事項	ＩＣＴ活用方法
導入 ５分	・本時の目標及び活動内容について知る。 ・『目に見える制度と見えない制度』の内容を簡単に振り返る	・本時の目標及び活動内容について説明する。	・本文の要点をまとめたスライドを投影する。
展開 ４０分	・「アクティブ 10 公民」の動画を視聴する。 ・あればいいなと思う制度を考え，紙のワークシートに記入する。	・法律や制度と人々の関わりについて再確認する。 ・制度の内容や効果を，他者にわかりやすく表現するよう指導する。	・電子黒板に動画を投影する。 ・電子黒板に教師の例を投影する。

	・授業支援クラウドアプリに配信された PDF ワークシートに自分の意見を入力する。 ・電子黒板に投影された意見を見ながら，自分の意見と比較したり，他者の多様な意見を知ったりする。	・意見を投影する際は名前は伏せる。 ・希望する生徒には内容について補足説明をさせる。 ・数名を指名し，感想を述べさせる。	・授業支援クラウドアプリ内で作成した生徒のワークシートを投影する。 ・注目すべき点などにはインタラクティブペンを使用して，傍線を引いたり，まるで囲んだりする。
まとめ ５分	・本時と単元の学習内容を振り返る。	・より良い社会を作っていくために，多様な視点を持つことの大切さを知らせる。	

（授業の様子）

動画視聴風景

授業支援クラウドアプリでの個人作業

クラス全体での意見共有

（生徒の反応と課題，改善を要する点）

意見の紹介は匿名で行うことを予告したので，リラックスして意見を考える様子が見られた。また，授業支援クラウドアプリの機能を生かしてフォントの色を変えたり，イラストを加えたりしてオリジナリティを出そうとする生徒もおり，結果的にバラエティに富んだ意見が集まった。授業支援クラウドアプリのモニタリング機能は，生徒の活動状況を一画面で把握することができるため大変便利であるし，「先生に注目」機能によって，生徒を電子黒板に注目させることができる。この二つの機能は教師が授業をスムーズにコントロールする上で大変有効であると実感した。また，電子黒板の設置によりスピーディに画面投影ができるようになった。従来の労力を考えると大変ありがたい。しかし，更新状況や電波受信の状況には端末の個体差があり，個々の ICT 作業スキルにも当然差があるので，授業支援クラウドアプリを使用して全員が共通の作業を行える状態にするまでに時間がかかっている。授業での使用頻度を増やすことで活用スキルの定着を図り，教師が作業指示

を事前に行うことで，生徒自身が授業開始前に準備を整えておけるようにしていきたい。